



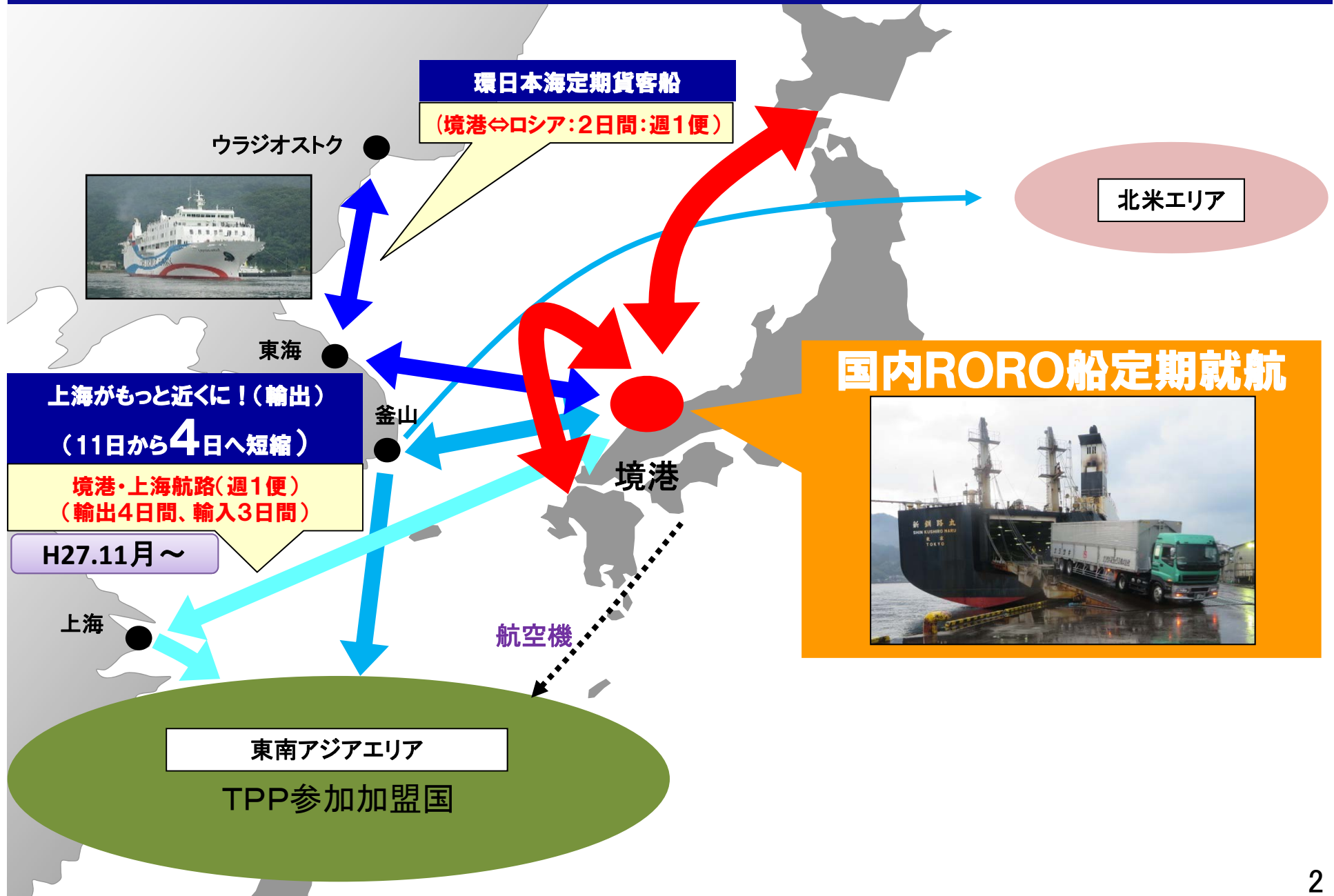
# 内航船トライアル輸送の取組み



平成28年5月7日

境港管理組合

# 境港のハブ化・物流機能強化のイメージ





## トライアル輸送の目的

- 陸上(トラック・鉄道)中心の山陰における新たな貨物輸送形態として海上輸送の可能性を探る。
- 国内海上輸送航路のミッシングリンクとなっている舞鶴以西の日本海側地域における境港を寄港地とした内航船定期航路開設を促進する。



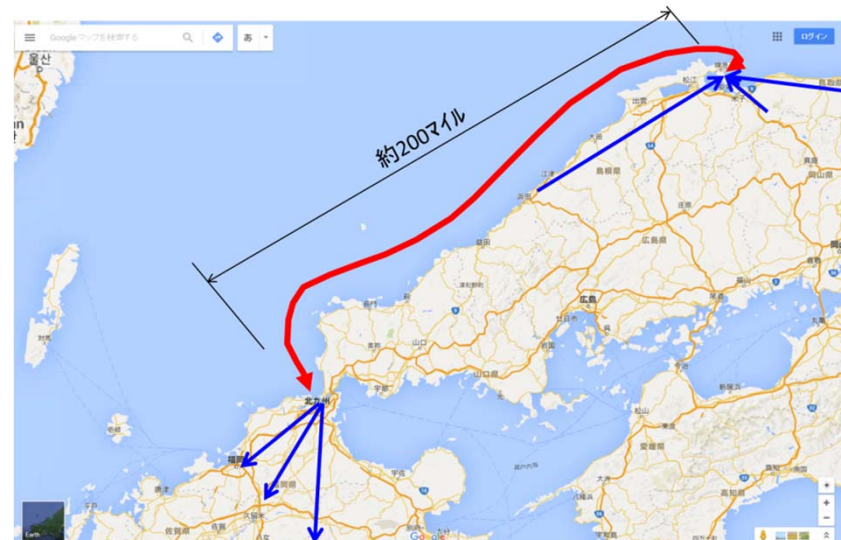
# これまでのトライアル輸送の実施概要

## H25-26【苫小牧港-境港-新潟港】



- ・実施回数／4回
- ・船種／RORO貨物船(3~5千GT級)
- ・輸送形態／シャーシ、自走貨物
- ・運航船社／栗林商船(株)
- ・集荷代理店／なし(境港管理組合直営)
- ・主な貨物／(移入)原木、農産品、自動車部品  
(移出)合板、農機、建機、機械製品、業務用塩

## H27【北九州港-境港】



- ・実施回数／1回
- ・船種／在来貨物船(499GT級)
- ・輸送形態／コンテナ(12ft、31ft、40ft)
- ・運航船社／日本海運(株)
- ・集荷代理店／日本通運(株)山陰・九州各支店
- ・主な貨物／(移出)紙製品、飲料水、合板、農機、  
文房具、マッサージ機



## これまでの成果と課題

### ○成果

- ☆ 通年の輸送ニーズ把握
- ☆ 計画通りのリードタイムと輸送品質確保
- ☆ 利用企業からの定期航路開設要望

### ○主な課題

- ★ 境港における輸送機材確保等物流拠点化の基盤づくり
- ★ 通年での運航スケジュール維持が可能な船舶確保
- ★ 競争力のある運賃設定
- ★ 多様な輸送ニーズに応じたサービス提供



### ■今後の方向性

- ① 更にトライアル輸送を重ね内航RORO船の定期航路開設を促進
  - ・ 物流基礎調査や輸送ニーズを踏まえた船舶確保及び航路設定
  - ・ ベースカーゴの掘り起しとポートセールス体制強化
- ② 境港側の陸上輸送部分のシステムづくり
  - ・ 輸送機材(コンテナ、ヘッド、シャーシ等)の確保
- ③ 他港との連携
  - ・ 苫小牧港、新潟港、北九州港等との協力体制確立



## 平成28年度トライアル輸送実施計画

(※境港延伸にかかる手続き中)



### 【運航船舶諸元】

運航船社:近海郵船(株)

船種:RORO貨物船

総トン数:11,193トン

積載車両:13mトレーラー160台、乗用車50台  
リーファー(温度管理)用電源有

トライアル運航初となる**2回連続寄港**  
境港寄港日:**6月20日・27日**

運航表(1回目)

苦小牧港	敦賀港		境港		敦賀港		苦小牧港
出港	入港	出港	入港	出港	入港	出港	入港
6月18日	6月19日	6月20日	6月20日	6月20日	6月20日	6月21日	6月22日
土	日	月	月	月	火		水
20:30	20:30	1:00	9:00	12:00	20:00	1:00	1:00

運航表(2回目)

苦小牧港	敦賀港		境港		敦賀港		苦小牧港
出港	入港	出港	入港	出港	入港	出港	入港
6月25日	6月26日	6月27日	6月27日	6月27日	6月27日	6月28日	6月29日
土	日	月	月	月	火		水
20:30	20:30	1:00	9:00	12:00	20:00	1:00	1:00



## 平成28年度トライアル輸送のねらい・特徴

- 運送契約、集配送等の一貫業務を物流事業者中心で行い、より商業ベースに近い形で実施
- 既存航路の延伸によるスペースチャーター方式により運航コストの圧縮や既存航路との競合回避が可能
- 国土交通省、苫小牧港等の港湾管理者と連携したポートセールス強化

